



週)報

2012~2013年度))) R I会長)田)中)作)次)
『奉)仕)を)通)じ)て)平)和)を』)
)))))))))第 2570 地区ガバナー)鈴)木)秀)憲)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)若松泰誼) 会長エレクト)栗原憲司))副会長)山室博美))幹事)稲見)淳

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 947 回(5 月 14 日)例会の記録

点 鐘 若松泰誼会長
合 唱 四つのテスト
第 2 副 S A A 小澤君、佐藤君
卓話講師 国際ロータリー第 2570 地区
ガバナーエレクト 中井眞一郎様
ビジター 狭山 R C から 4 名
高柳 清様 佐藤信男様
五十子寿彦様 田口伸一様

強いと 6 割はそっちになびき、8 割の悪玉菌となる。それが「腐敗」であります。
人間界で言えば、マスコミが「不況です」「大変です」と言い続けると 6 割の大衆は口を揃えて「うちも不景気だ」「うちも大変だ」と大合唱。その結果、国内の 8 割の勢力が「大変だ、大変だ」というムードになって行く。まったくその通りだと思います。

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	27 名	77.14%	91.43%

会長の時間

若松会長
「2 割の善玉菌で居続ける決意」

NPO 法人「読書普及協会」というのがあります。その理事長の清水克衛さんがこんな話をされていました。生き物の世界には 2 対 6 対 2 この法則がある。2 つの「2」は対極をなしており、「6」はどちらか勢力の強い方になびいていく、というものである。例えば、細菌の世界。2 割の善玉菌と 2 割の悪玉菌、そして 6 割の日和見菌がいるとします。善玉菌が強いと 6 割は善玉菌になびき、8 割の善玉菌となります。それが「発酵」と呼ばれるものであります。だけど 2 割の悪玉菌が



そこで清水さんは「2 割の善玉菌で居続けよう。その為には固い意思が必要である。」とされています。誰かが「今、不況で大変だ」と言っても「そうですね」と答えてはいけません。絶対に流されない決意が必要であると言われております。誰が何を言おうと「不況がどうした!」「売上げが下がっても俺のテンションは下がらない」「勝利の V という字を見てみい。勝利する為には一度、どん底まで落ちなきゃいけないんだ」みたいな能天気なことを言い続ける覚悟がないと、2 割の「善玉菌」で居続けることは出来ないと言われております。

一時の日産が V 字回復と騒がれましたが、ゴーン社長も同じ心境だったのですかね。生には運氣と言うものがあります。世の中の「悪玉菌」になびいて運氣が下がると、ツイてない事が複合的に起きる事があります。

しかし、2 割の「善玉菌」で居続ける覚悟をすると運氣は間違いなく上がる。

運氣が上がればどんなマイナスの状況下でも物事が不思議に好転し



ていく。仕事がかうまくいったり、いい人間関係に恵まれたりと良くなります。運気が上がるきっかけの一つに「頼まれたことを喜んで受ける」というのがあります。例えば、会社の中でも「さん、ちょっとすみません。・・・これをお願いします」と頼まれたとします。それを喜んでやるとまた頼まれる。頼まれやすい人になると、その人の名前が会社の中で一番呼ばれるようになる。そうすると上昇気流に乗れるような運気がドンドン上がっていく。



ところが

「なんでいつも私ばかり・・・」と愚痴を言い始めると眉間にシワができ、ブスツとした表情になる。そうすると誰からも頼まれ事をされなくなり、楽にはなるが運気はドンドン下がっていく。すごく良く解ります。

もう一つ運気が上がるコツは笑顔。意識して口角を上げてしているとニコニコしているように見える。ニコニコしているように見ると段々人相が良くなる。人相が良くなると間違いなく運気が上がっていく。



江戸時代にですね、「稼ぎ3割、仕事7割」という言葉があったとこれも清水さんがおっしゃっていました。

「稼ぎ」とは今で言えば、現金収入につながる商売であったり、給与につながる業務のこと。

それに対して「仕事」というのは地域ボランティアの事だと言われています。

壊れた橋があれば修理に行ったり、お年寄りの具合を見に行ったり、一銭にもならないけど、やがてそれは「徳積み」という形で本人に還元され、いい人間関係や商売繁盛に恵まれていったそうであります。

皆さん、最近、運気が下がったと感じたりしたら、口角を上げて、一銭にもならない事にでもニコニコして汗を流されてみたらいかがでしょうか。

何か我々ロータリークラブの活動にもなるのかなあーという気がします。

幹事報告

稲見幹事

1. 社会奉仕活動データベース化に伴う、活動報告依頼について
2. 第3G新旧会長・幹事会開催について
3. 地区役員・クラブ会長合同会議開催について
4. 狭山市交通安全対策協議会委員委嘱のお願いについて
5. ロータリー補助金ニュースについて
6. 受贈会報 入間RC 飯能RC
7. 例会変更 飯能RC
8. 回覧物 尚寿広報誌第85号
難民を助ける会AARニュース
ハイライト米山158

委員会報告

寶積20周年記念事業実行委員長より

皆さんのお手元に「20周年の実施概要」があると思います。この概要といえますのは本当に大変で、実行委員会の天才的というほどの益子会員にほとんど作って頂きました。こちらを見て頂ければ、私が説明するところはほぼありませんが、少しだけ加えさせていただきます。

まず来週、5月25日(土)だということを忘れないで下さい。受付は11時30分から12時少し前までで、12時から開宴です。もしも駐車券が必要な方は、受付に駐車券を用意しておきますので、その場で受け取って下さい。場所は川越プリンスホテル3F、プリンスホールのダイヤモンドルームです。

先ほど会長のお話にもありましたが、今日はこちらにこにこです。当初60~70人位の参加かと思っていましたら、最終的に133人の参加を得られました。ほとんど会員家族だけです。これも凄いと驚いております。

席順がこちらの表に書いてあり、既にお名前も全て入れてあります。お席には全ての人の名前が置いてありますが、事前に良く見て頂き、大体の座る位置を認識しておいて頂きたいと思っております。そして御祝の品がテーブルの下に置いてありますが、原則は各家族1個です。例えば会員と奥様と息子さん夫婦という場合は2個です。会員と息子さんと娘さんの家族という場合は3個です。こうした形で御祝が置いてありますので、お持ち帰り下さい。

フリードリンクになっておりますので、飲みたいお酒等、持ち込み自由になっております。秘蔵のお酒がありましたら、当日是非お持ち下さい。アトラクションは、浅草の「虎姫一座」を莫大な費用を出し呼んでおります。その他にもマジック、演奏もあります。時間は2時間としてありますが、恐らく3時間位かかるのではないかと思います。

そして最後に全員で、ステージで集合写真を撮る予定になっておりますので、是非お忘れになく、お帰りにならないようお願い致します。分らないことがありましたら、私か、実行委員 7 人おりますので、質問をして頂きたいと思ひます。

「外来卓話」・・・・・・・・・・

国際ロータリー第 2570 地区
ガバナーエレクト 中井眞一郎様



20 周年という節目の年にお話できることを大変嬉しく思っております。素晴らしい式典になりますことを、お祈り致しております。

私は昨年 7 月 1 日、ガバナー月信に「変革に備えて」という題で文章を書かせて頂きました。これに関しまして、色々ご批判を頂戴いたしました。ご批判自体は一向に構わないのですが、困ったことに「変革に対する備え」というものが、

どちらかと言えば遅れている、大変厳しい状況が当地区は続いています。手続要覧という堅苦しいものがありますが、その中で、「地区の財団委員長は、義務ではないけれども、また強制ではないけれども、パストガバナーが務めることが望ましい」と書かれております。2013 年から 2016 年の地区の財団委員長、この方は実は、昨年 6 月 30 日までに決めなければならず、そして 7 月 1 日から手続を開始し、昨年 12 月 15 日には登録を致しまして、今年 1 月 18 日、19 日の 2 日間に渡って研修を受けるという義務が、この財団委員長にはあります。ところが当地区のパストガバナーは、諮問委員として、或いは担当諮問委員という形で 1 年間だけ、大所高所からご指導するという立場はご承知頂きましたが、財団委員長という第一線での指揮官は嫌だと、なかなかご就任頂けませんでした。ご就任頂けない結果どうなるかといひますと、当地区はロータリー財団の認定を受けられない、承認を受けられない、結果として補助金が支給されないということになります。しかし立原年度で 30 名のロータリー財団奨学生を選び、オリエンテーションを 1 年間に渡り行って、その方々の派遣準備が着々と進んでおります。そ

して私から、このままでは 2~3 人の方々は派遣できないことになる、どうすれば良いのかということは何度か申し上げましたけれども残念ながら就任はして頂けず、財団委員長は 12 月 14 日 20 時頃ギリギリで、松本現部門委員長にやむを得ないということ、引き続き 3 年間担当して頂くという話になりました。

しかし手続を進める為には、2013 年~2016 年の 3 人のガバナーのサインが必要となります。2013~2014 年度は私、2014 年~2015 年、2015 年~2016 年の 3 人のガバナーノミニーがサインをしなければならぬということでしたので、最終的には、2014 年~2015 年度の坂本さんに（現次世代の部門委員長）お引き受け頂くということで、4 月 1 日にギリギリ間に合い、どうか当地区は 3 人の奨学生を派遣できるということになりました。2015 年~2016 年のガバナー、これも本当は決まっていなければいけないのですが、これに関してはまだ世界的にも決まらないところもあるということで、最低限財団委員長と 2 人のガバナー、合計 3 人のサインで、ロータリー財団の承認を受けるということになりました。

地区の財団委員会は、ある意味では先行しております。各クラブに対しては何回かに渡りセミナーを行い、クラブとしての覚書を結ぶための、各クラブの方はそれぞれセミナーに出るという形で、クラブとしての責任というものはクリアをされています。しかし基になる地区の方が、資格を得られないということが、今年 3 月末までございました。

私としては、次年度のガバナーノミニーが決まらない状態、坂本さんが決まらない段階では、やむを得ない、予定している分だけは地区の特別会計を取り崩してでも、お金だけは準備をしようと、一度地区予算を作りました。しかし財団委員長の方から、お金があっても学生は派遣できない、お金だけの問題ではなくて、ガバナーノミニーをとにかく選んでもらわないことには、財団の事業は頓挫する、そして頓挫するだけならよいのですが、3 人の一生懸命勉強した方々が、地区の事情でそれぞれの希望する所に留学できない、それは誠に申し訳ないと思ひました。こうした事態が、地区の中では、ある意味皆様にまだ発表にならない状況で進んでいるといひますか、進まないでおります。

今年 4 月から規定審議会が開催されます。この規定審議会に関しましては、地区から代表者が派遣されることとなります。立原年度の地区大会では、鈴木パストガバナーが代表になり、入間の石川パストガバナーが予備の委員ということで決定になりましたが、どういう訳かお二人とも出席されず、加藤玄静パストガバナーが出席をされました。これもガバナー指名という形でなされましたが、地区の規定審議会への代表の出席、さらに言えば、地区大会も昨年 11 月頃に開催する予定

でしたが、今年の4月に変更となりました。このような変更というものが、どこの場できちんと行われたのかということに関しては、あまりご説明をして頂けませんでした。

私と致しましては、ロータリアン一人一人にできるだけ情報は開示していきたいと思っております。情報はお知らせしたうえで、できるだけ率直なご意見を頂きたく、私が正しいと思っても、そうではないというご意見もあると思っておりますので、そのようなご意見は、どんどんと言って頂きたいと思っております。

今回規定審議会で、もし可決されたらとんでもないと思うような法案が多数ありました。これは私が時々メールで送っておりましたので、お読みになった方もいらっしゃるかもしれません。例えば、2年間会員数が25人未満のクラブは、ガバナーが近隣のクラブと合併させる、こういう新しい提案がありました。もうひとつ、25名以下のクラブには、地区大会の投票権を与えないといったものです。議案を一つ一つ審議されると思いましたが、12~13の議案を一括して審議され、どなたが賛成したか反対したか良く分からないまま、賛成という形で処理はされました。こうした点で、資格審査は行われましたが、資格審査に応じた選挙人が投票したのかどうか良く分からないという状況でございます。この点を置きましても、地区大会に於いて選挙権を与えない、ガバナーノミニーに関しましても、ちょうど狭山中央さんが平均くらいですが、地区の平均会員数よりも多いクラブからしかださないといった提案もありました。こうした提案に関して、各クラブが賛成、反対ということを言えるように、規定審議会が行われる2か月前に、A4一枚の紙に、字数の制限はありますが、賛成意見や反対意見を出せることになっておりました。現実には、規定審議会に200本近い議案が出されましたが、これをガバナーがガバナー補佐等を通して各クラブの意見を聞くという手続きを行われたのだろうかということに関しては、やや疑問を持っております。各クラブがそれぞれの立法案、或いは決議案に関して、賛成や反対を言う機会、クラブ協議会等を開いたかどうかということに関しては、開かなかつたクラブがほとんどではないだろうかと思っております。

では、当地区はこの規定審議会の立法案に対して、賛成、反対はどのように決めたかと申しますと、代表議員に全て一任でお任せしますということではなかつたのだろうか、せいぜいのところが、諮問委員会でそのような議論をされたかどうかといった感じで、ロータリアン、地区内の皆様のお一人お一人の意見はもとより、52のクラブの意見というものを踏まえて、投票されたのかどうかということに関しては、やや疑問が残っていると思っております。

今決められた案件に関しましては、各クラブに報告書が届くことになっております。この報告に

関して反対という場合には、反対の意思表示をすることができます。そしてこの反対の意思表示が、有効投票の5%になれば、その採択された案は保留となり、そうでない限りは、今回採択されたものは、手続要覧として印刷されたものが皆様の手に渡る前、今年の7月1日から実施しなければならなくなります。実施する対象となるものは、先ほどのかなり厳しい案件は全て、否決ないし撤回されておりますので、あまり影響はありません。クラブの幹事を理事会のメンバーにするといったようなことは、一つは影響します。そして「新世代奉仕」は「青少年奉仕」に、「地区協議会」は「地区研究協議会」と名前が変わります。これは名前の変更ですので、あまり大きな影響はありません。私の方で期待をしておりましたのは、ガバナーに対する出席率の報告でした。これは理事会提案でしたので通るのかと思っておりましたら、理事会が撤回してしまいましたので、そのような出席要件の緩和といったものは変更になりませんでした。

念のため現行の規定だけを申し上げますと、出席ということに関しては、例会時間の6割参加をしなければならないとなっております。こちらのクラブですと60分ですので、36分間在席していない場合は欠席として扱うこととなります。つまり13時6分より前に退席された場合、出席報告は厳密なことを言えば、欠席として下方修正をしなければいけないということに今の規定はなっております。そのようなことは現実にはなさっておられないと思いますが、色々規定によっては、とても守れないような条項が沢山ございます。世界の流れ方と致しましては、そのような守ることができない条項に関しては、変更しよう、直そうという形で、3年毎に案が出されております。今回も出席要件を緩和する、例会はこれまでは自由自在に取り消しができることの回数が4回までという制限がありました。この制限を取り払おうということ、そして理事会が決めた行事、理事会が決めたボランティアの会、それに参加することでも出席にするといった、様々な現状を追認するといえますか、或いは例会の出席を良くする、あるいは入会をしやすくするといった方向での変更案が続々と出ております。

今世界的には、現在120万人強のロータリアンを130万人にするのだということで頑張っており、その垣根を、敷居を低くするというので、入会条件の緩和ということが随分言われております。表向き専業主婦の入会を認めるという条項は否決になっておりますが、子供の為、配偶者の為に仕事を中断した人、或いは仕事に就けなかった人は、会員にすることができるということになります。そして職業分類、一業種一人といていたものがどんどん緩和されましたが、さらに現時点で職業についていない人も会員にできるという方向になりつつあります。こうした変化に対して、やはり皆様方にも、良し悪しは別として、備えて頂く

必要があると思っております。そうでなければロータリーとして予算が無くなってしまいます。しかし一業種一人を取り払って、その意味でロータリアンのイメージ、ステータスがなくなる、結果において退会者が増え、入会者が増えない、そういう理由だというお考えもあります。垣根や敷居を低くするという一方で、ある意味では人が増えますが、別の意味ではロータリーの良さが失われるといった2通りの考え方あると思います。今はとにかく増やせ、増やせという方向です。法人会員という案は、規定審議会では提案されないままに終わりましたが、法人会員というものを認めようという考えもごさいます。この法人会員といえますのは、株式会社の代表取締役を正会員として、副社長なり、専務なりを指定した準会員のよう形とし、どちらかが出てこられたら出席にするといった方向で、一つの出席要件の緩和や入会のしやすさの方向性、こうした方向性が日本のロータリアンにとっては、あまり芳しくないといったご意見は多数あります。しかし先ほど申し上げました通り、日本人はロータリーの方向性にも、新しい規定にも反対は多いけれども、立法案としての提案はほとんどない、或いは立法案に対する意見もほとんどありません。これではなかなか日本の思っているような国際ロータリーにはなっていないだろうと思います。

今、ロータリーに対するイメージが低いと言われております。ロータリーという名前は知っているけれども何をしているかわからない、そして色々ご説明をした挙句、ライオンズクラブのようなものですかと言われる、冗談のようなお話があります。これはライオンズクラブが団体として活動しているのに対して、ロータリークラブはアイサーブという形、個人で活動してきたということ、この歴史による差が、公共イメージといえますか、認知度という形で、やはりライオンズクラブの方が一般の方に行き通っているのだらうと思います。ロータリー財団はそのためもあり、次年度、今年の7月1日からは、簡素化すると同時に限られた資金をできるだけどんと、大きなところに使いたい、目立つようにしたいと言っております。色々なことに手を付けて、言い方は悪いのですが、細々とした奉仕ではなく、世の中に目立つような、大きいことを行い、それによって入会者を増やし、会費収入を増やしたいといったことだらうと思います。

サンディエゴでは、人を集めることとお金を集めること、この2つだけがメインのテーマといっても良いくらいでした。何が何でも増強ということと、財団への寄付を増やして欲しいという2点です。日本のロータリーでのガバナーエレクトからは、米山の寄付はいけないのかという質問がでたり、或いは地区のテーマに関して、RIのテーマに反しない範囲で地区のテーマを掲げて良いのではないか、スローガンを作ってもよいのではない

かといった意見がでましたが、これに関して研修リーダー、RI側は、まず財団の寄付を優先して欲しい、そしてRIのテーマ以外のテーマを各地区が掲げることは好ましくない、スローガンといえども好ましくないといった対応でした。私と致しましては、一応RIの一役員という立場を考えまして、地区のテーマは掲げない、そして地区のバッチは作らないということに致しました。

ロンバートンさんという次期会長が、国際協議会に於いては、500円~1000円程度の手土産を持って、その手土産を交換するということがこの場での慣習となっている、できれば次年度のガバナーはその手土産を持たないで、財団の寄付に充てて下さいという、小さい所からの要望もありました。500円の品物でも、500個、1000個と用意して行けば、25万円、50万円となりますので、それは財団への寄付にしてほしいという要望です。それほどまでに、財団としては寄付を求めているということが、現状のRIの立場です。

次年度はこうした意味で、これまで単年度であったロータリー財団が2年度制ということになります。本年度が準備期間で、来年7月からの実施のためには今年の内にて全て準備をし、今年の内にて承認手続きを経て、OKが出ない限り7月1日からの事業はできないというように、財団の事業そのものが変わります。そして委員長は基本的には3年ということになりました。私がガバナー補佐に関して、できれば現在の5人のガバナー補佐の方にもう一年やって頂けないかとお願い致しましたのは、事業の継続性という観点もあり、他方ではガバナー補佐が2年、3年なさっている地区が、国内では多数あることからです。

ガバナー補佐は年に4回程度クラブを訪問するというようになっておりますが、その場合は第3グループですと12クラブありますので、48回クラブ訪問をしなければならなくなり、これは大変な事であると思っております。しかしその前提条件に、ガバナー補佐の担当クラブは4クラブから8クラブ位というものがあるのですが、この前提条件を取り払って、4回の訪問をしなければならぬので48回になってしまうのであり、4クラブであれば4回行って16回なのです。私と致しましては、今の第1~第5グループまでであるのであれば、せいぜい5クラブ位を担当するガバナー補佐ということで、1グループ2人、全体で10人のガバナー補佐を考えましたが、中々手を挙げて頂ける方がいらっしゃらず、結果に於いては5人のままになりました。この補佐の負担をどのようにして減らしていくかということを考えておりましたら、ある方から、もともとガバナー補佐はガバナーの負担を減らすためのものなのだから、ガバナーが補佐の負担を減らすことを考えることは無いと言われましたが、それでは中々なって頂ける方が少ないと思います。

世界的には、現在のロンバートンさんがガバナー

ーになったのも今から 26 年前、おおむね 40 歳の頃です。韓国の方々を見ても、50 歳前後の方が多いうようにお見受けしました。日本ではややガバナーエレクトの年齢が高すぎる、このように思います。しかし 50 代、40 代の現役の方がガバナーをするためには、負担が多くてはできず、仕事をしながらできるようにするためには、ガバナーなりガバナー補佐なりの負担の軽減というものは、どうしてもしなければなりません。そして地区の委員会、これもお楽しみでしている部分は一向に構いませんが、仕事でいくといったことに関しては、出来るだけ減らしたいと考えております。セミナーはメールや FAX で済むものはそれに代えて、一同に集まって会議をすることをできるだけ止める方向にしたいと考えております。IM もそれなりの意義があり、大変素晴らしいものだと思っておりますが、会長幹事を始め、ご担当の方々の負担に見合うだろうか、費用対効果ということを考えて時に、やや疑問を感じておりますので、次年度は原則として IM はやらない方向であります。これはガバナー補佐の負担を減らすという 1 つでもあります。そして合同例会をできるだけして頂きたいということをお願い致します。できれば IM に代わる形での合同例会、第 3 グループで言えば、12 クラブ合同ということ、規模としては IM の規模で合同例会をして頂きたいをお願い致しましたが、会場の都合等もございまして、中々うまくいかず、第 1 グループでは、4 クラブ-3 クラブ-3 クラブという形で、合同例会を 3 回行うという形でほぼまとまりつつあります。

色々な方の負担を減らす、この一環として、地区の分担金を大幅に減らすということをしてみました。個別には何々の費用が 200 円、何々が 4000 円というものを積み上げた形ではなく、現行は半期 14,100 円となっておりましたが、これを年額に致しまして、年額 28,200 円を 35 歳以上の会員は 20,000 円、35 歳未満の会員は 10,000 円とさせて頂きました。これは 4 月 10 日の地区協議会に於いてご賛同頂きまして、次年度からスタート致します。8,200 円の減額に加えまして、IM を行わないという、隠れた負担金(各クラブ 5,000 円程度)も浮きますので、見方によりましては 18,200 円、35 歳未満の方は 28,200 円の減額となります。これをお願い致しますのは、実はクラブは 35 歳未満の方の入会金、会費を免除できるという規定になっております。大変状況が厳しい中で、免除はできないということだと思っておりますが、規定上は免除規定がありますので、そのご活用の検討をお願いしたいということで、まず地区から始めようと地区が減らしました。それぞれのクラブでご検討頂ければと思います。

次年度は私自身も楽をし、ガバナー補佐も、地区の委員長さんも楽をして頂きたい、各ロータリアンも楽をして一年間過ごして頂きたいと思っております。そしてその上で、ロータリーを楽しんで頂

ればと思っております。次年度のテーマは「CHANGE LIVES」であり、「ロータリーを实践したうえで、周りの人に、皆に豊かな人生を」という日本訳になっております。先ほど幹事の方とお話致しましたが、「ロータリーの綱領」の日本訳がこの度変わりました。ロータリーの目的という形で、英文自体は変わりませんが、中身の訳も変わりました。同じように、国際ロータリーのテーマも英文と日本訳にやや違和感があります。ただし、日本語化をこれできちんと決めたとのことですので、「ロータリーを实践し、皆に豊かな人生を」ということが次年度のテーマとなります。この日本訳に沿って次年度 1 年間頑張っ

)
)
)



ニコニコボックス



高柳 清様、五十子寿彦様、佐藤信男様
(狭山RC)

本日はお世話になります。

田口伸一様(狭山RC)

狭山中央RCの皆様にはいつも大変お世話になりありがとうございます。

ガバナーエレクト中井様、本日は勉強しに参りました。よろしくお願い致します。

西澤長次様(新狭山RC会長)

いつもお世話になっております。中井ガバナーエレクトのお話楽しみにしておりました。残念ですが仕事の都合で出席できません。今後ともご指導をよろしくお願い致します。

若松君 本日はガバナーエレクト中井眞一郎様、ようこそいらっしゃいました。卓話よろしくお願い致します。

稲見君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナーエレクト中井眞一郎様、今日のお話楽しみにしていました。よろしくお願い致します。狭山RC五十子様、高柳様、佐藤様、田口幹事ようこそお出で頂きました。

江原君 国際ロータリー第 2570 地区ガバナーエレクト中井眞一郎様、本日はようこそお出で下さいました。何卒よろしくお願い申し上げます。狭山RC五十子様、高柳様、佐藤様、田口様、ようこそお出で下さいました。時間の許す限り楽しんで行って下さい。

寶積君 中井ガバナーエレクト、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願い致します。狭山RC五十子様、高柳様、佐藤様、田口様、ようこそ！楽しんで行って下さい。

栗原(憲)君 2570 地区ガバナーエレクト中井眞一郎様ようこそお出で下さいました。狭山RC五十子様、高柳様、佐藤様、田口様ようこそお出で下さいました。

中谷君 2570 地区ガバナーエレクト中井眞一郎様、本日は当クラブによるこそお出で頂きありがとうございます。いろいろお話しお聞かせ下さい。

狭山中央RC美女軍団

中井ガバナーエレクト、狭山RCの皆様、本日はようこそお出で頂きました。只今、当クラブ女性会員6名ですが、その中でも飛び切りの美女軍団が本日は念入りに化粧をしまして、お待ちしております。よろしくお願い致します。

結婚記念日 小幡君

次の例会

6月4日(火) 12:30~13:30

外来卓話 狭山警察署長 大谷久志様

第2副SAA 田中君 吉川君